

令和4年度 4月号



学校
だより

横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

☆☆育てたい「いまじゆくの子」☆☆

- い ○いきいきとした心と体をつくる子 (体)
- ま ○学びをいかそうとする子 (知)
- じ ○自分とみんなを大切にする子 (徳)
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子 (公)
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子 (開)



今宿小学校
WEB ページへ

家庭と地域と学校で子どもを育てる

校長 島田恒弘



令和4年度が始まります。128名の一年生を迎え、613名でスタートします。新型コロナウイルス感染症で十分にできていなかった異学年交流を、できる形で行い、豊かな人間関係を築いていきたいと思えます。

さて、文部科学省は令和4年度から「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」を各学校に設置し、地域と学校が連携・協働して子どもの豊かな成長を実現するようにと通知を出していました。連携・協働のためには地域と学校が目標を共有して、互いに積極的な取組を進めることがポイントです。その中でも「地域学校協働本部」についてお知らせとお願いをしたいと思います。

昨年度、「おはやしクラブ」と「放課後自習室」を立ち上げました。「おはやしクラブ」は、これまでクラブ活動でしたから、働き方改革の中、お祭りに参加するにも勤務時間の課題がありました。また、「放課後自習室」は、本校の育てたい児童の姿「学びを活かそうとする子」を育てるために、家に帰ったらなかなか勉強に取り組めないという課題を解決したいという思いがありました。そして、どちらも、学校の先生ではなく、まちの人と様々な形でかかわる中で、「まちを大切にする心」が育ってほしいと思えました。私自身、小学校の時に、ラジオ体操カードに印を押してもらったり、盆踊りの時に子ども何人かで太鼓をたたいたりしていました。そうしてまちの様々な人とかかわることで、まちを大好きになり、自分も大人になった時にまちの役に立つことを行おうという気持ちになりました。今、町内会・自治会の多くの役員は高齢化が進んでいます。子どもたちがまちの人とかかわる中で、様々なまちの行事に参画できるようになれば、「持続可能なまちづくり」が可能になると考えていますし、それを願っています。

学校と地域の架け橋として地域学校協働活動推進員（学校・地域コーディネーター）を置くこととなります。学校・地域コーディネーターと学校窓口の職員とで、まずは、「おはやしクラブ」と「放課後自習室」の運営を行っていくようにしていきます。しかし、運営していくには人が必要です。そこで、「おはやしクラブ」「放課後自習室」の見守りにご協力いただける方を募集します。どちらも水曜日の14時45分～15時55分に活動します。「おはやしクラブ」は月に1回、「放課後自習室」は毎週行います。（今年度から「学校だより」の月予定に活動日を掲載します。）（見守り協力 連絡先 今宿小学校 ☎ 951-2240）

以上のことも含めて、中期学校経営方針を次の3年間に向けて改訂しました。学校説明会で説明させていただきます。家庭と地域と学校で子どもを育てていきたいと思えます。

今年度もどうぞよろしくお願ひします。